

ごあんん新聞

第32号

担当 武田 知子

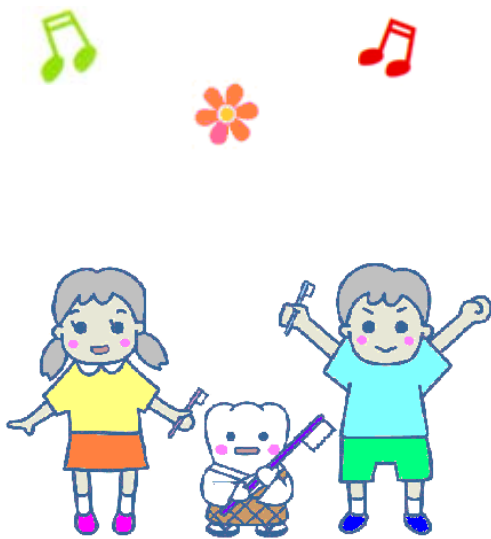
口腔粘膜疾患

毎日のお手入れの際、口腔内を見る時どのような点に留意されていますか？歯ブラシや歯間清掃用具を用いてのプラークコントロールをすることはもちろんですが、「何かが違う！」というわずかな異常に気付くことができるよう、普段から口腔内を観察する眼を一緒に養っていきませんか？粘膜疾患あるいは異常が、どのような病気、状態へとつながっていくのか、今回は「口腔粘膜疾患」についてお話ししたいと思います。



口腔粘膜とは？

口腔粘膜とは、お口の中の頬、唇、舌、歯ぐき、上あごといった歯以外の柔らかい組織です。専門的には①被覆粘膜（軟口蓋、舌下面、口腔底、歯槽粘膜、口唇、頬粘膜で、口腔粘膜の60%を占める）②咀嚼粘膜（歯肉、硬口蓋で、口腔粘膜の25%を占める）③特殊粘膜（舌背で、口腔粘膜の15%を占める）とに分類され、皮膚と同様に色調などにそれぞれ個人差があり、また局所的、全身的影響により日によって変化することがあります。日頃から粘膜部位にも目を向け、少し赤かったり白かったり等変化がないかを観察してみまなう。



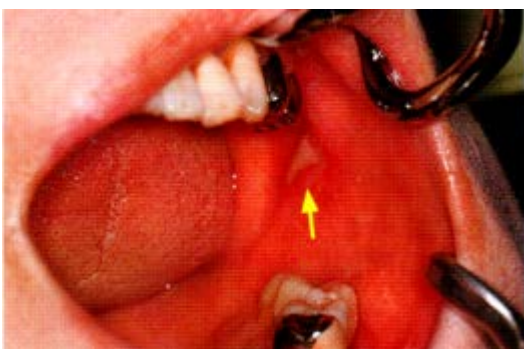
ここからは、比較的よくある粘膜疾患について、治療法もふまえてご説明します。

①アフタ

アフタとは、境界明瞭な円形ないし楕円形の有痛性の小潰瘍で、表面には白色様の偽膜があり、潰瘍の周囲には紅うんとよばれる紅斑が存在し、接触痛が著名です。

★ 対処法

そのまま経過観察するか、症状が強い場合は副腎皮質ステロイドホルモン剤、貼付薬、噴霧薬などを使用することもあります。通常1週間から10日ほどで治癒します。



② 扁平苔癬

(へんぺいたいせん)

角化病変（角化異常を伴う炎症性変化）で、原因は不明ですが、免疫機構の関与、金属アレルギーの関与などが考えられています。レース状、網状、綿状などの白斑及び白色線が特徴で、紅斑あるいはびらんを伴い、白色が強いものは粗糙感が、赤色が強くびっしんを半う易きは冬痛も強くなります。

好発部位

頬粘膜、口唇、舌、歯肉。

★ 対処法

痛みが強い場合には副腎皮質ステロイドホルモン剤を塗布します。現在のところ医学的根拠に基づく治療法はなく、長期的な経過をたどることが多いです。その他の対応として、原因と考えられる歯科材料を問診や皮質貼付試験（パッチテスト）などで確認し、投与の中止や除去を検討します。

※なかには数年後に一部から癌が発生することもあります。



③ 白板症

粘膜に白斑を生じる角化病変で、前癌病変の1つとされています。前癌病変とは、全てが癌になるわけではなく、今後癌化する可能性のある疾患であるという意味です。

白色の肥厚した境界明瞭な隆起が認められ、扁平苔癬に比べ角化の程度が著名です。ガーゼ等で拭いても除去できず、肥厚している状態です。原因は不明。喫煙、機械的刺激、ビタミンAの欠乏、刺激性食品の摂取、エストロゲン欠乏などが関与し、40歳以上の男性に多いのも特徴です。

好発部位

歯肉、頬粘膜、舌、口唇。

★ 対処法

一部組織を切り取って顕微鏡で形態を観察する「生検」が必要となり、それにより悪性の有無や程度が判明し、病変の切除やレーザーによる蒸散が行われます。



④ 紅板症

こちらも前癌病変の1つです。WHOの定義では「臨床的にも病理組織学的にも他の疾患に分類されない紅斑、又は紅板である」とされています。鮮紅色の紅斑がみられ、刺激痛を伴います。上皮は非薄で角化亢進はありません。50〜70歳代に多いとされています。

好発部位

舌、歯肉、頬粘膜。

★ 対処法

外科的に切除するのが望ましいとされています。放射線療法や化学療法も有効なことが多いのですが、治療後の経過観察には注意を要します。

※発生頻度は白板症よりまれですが、癌化率が極めて高いのが特徴です。



⑤ 口腔カンジダ症

口腔に常在する真菌の口腔カンジダによる感染症のことです。体調不良や免疫力の低下に伴い病原性を現し、発症します。また、薬剤の長期服用による影響、抗菌薬の投与による菌交代症によっても生じることがあります。表面はクリーム状の白斑で、容易に拭い取ることができます。発赤（ほっせき）などの炎症症状が軽度であれば、疼痛の自覚症状はあまりありません。

好発部位

頬粘膜、舌、口唇。

★ 対処法

抗菌薬の投与を行います。原因がわかればその除去を行います。全身状態の関連も影響している場合は改善が困難です。睡眠、食事、疲労への対応など、日常生活において改善できるところも見直します。



さらに、「このできものは癌ではないか?」と思われることがあるかもしれません。先ほど述べました白板症と紅板症は、前癌病変と呼ばれとりわけ癌化しやすく、放置しておく危険なものであり注意を要します! 実際、肉眼的に白・紅板症と思われるものでも、一部癌化していたり、すでに癌になつていたりする場合がありますから、自己判断せずすみやかに医療機関を受診して下さい!

おわりに

常に口腔内全体を観察する習慣をつけて、異常を見つめる疑う目を養いましょう。これが、早期発見、早期治療につながります。「おかしいな?」「変だな?」と気づいた際は、いつでもお声がけ下さい。



スタッフの広場

こまち先生より一言

災害や事故の報道を目にするたびに、自分の身の回りは平和だとつくづく感じます。感謝の気持ちを持って過ごさねばなりませんね。

冬の前に秋の蔵王に癒されに行ってきました☀紅葉&釣り&ジンギスカン&ソリすべり◆最高の一日でした♥ 吉田

芋煮シーズン真っ只中です♥食べることが大好き♥な私。今年も結構な量食べてます(笑) しょうゆ味LOVE♥ 武田

秋晴れでいい天気なのにもう寒い☔今回は新潟の自然探索に行きたいと思えます★オススメ あつたら教えて下さい♪ 長澤

先日母と二人で東京へ行って来ました★美味しいものをたくさん食べ、買い物もたくさんし、大満足の旅でした♥♥ 坂坂